

● 2025 年度 夏期 短期留学プログラム <2次募集> 募集要項:プログラム編 ① 【申込抽選】

◆ 募集要項の確認

対象コース掲載の募集要項:プログラム編と同時に、「募集要項:申込要件」(別冊)の記載内容を十分確認・理解の上、プログラムへの申込をご検討ください。

※ 募集要項の掲載内容に更新・修正があった場合は正誤表とともに最新版の募集要項をホームページに掲載します。申込を検討する際は、最新情報を確認してください。

◆ 募集要項:プログラム編① の目次・掲載留学プログラム

項番・項目名	ページ
1. 本要項(プログラム編①)掲載プログラム・コース概要	1
2. 掲載コース関連スケジュール	3-4
3. 申込方法と留意事項	5-6
掲載コース別情報	
▶ Global Fieldwork Project 「マレーシア科学大学」	7-8
▶ Global Fieldwork Project 「パンニャサ大学」	9-10
▶ 異文化理解セミナー 「アラバマ大学」 ※ 本コースの 2 次募集は有効なパスポートを所持している方のみ申込できます。	11-12
▶ 異文化理解セミナー 「クイーンズ大学」	13-14
▶ 異文化理解セミナー 「ビクトリア大学」	15-16
▶ 立命館・昭和ボストン 「文化・社会調査」	17-18
掲載コース共通情報	
● プログラム参加費用についての補足事項	19
● 奨学金について	19
● ホームステイに関する留意事項	20

◆ 本募集要項に関する問い合わせ先

※ 問い合わせ方法などの詳細は、「募集要項:申込要件」表紙に記載しています。

「立命館留学サポートデスク」(平日 9:00~17:00 ※土日祝 休み)
TEL: 077-561-4881

1. 本要項(プログラム編①)掲載プログラム・コース概要(内)

	プログラム・コース名	派遣国	募集人数	滞在形態	ビザ
	派遣期間(日本発着)	都市	募集形式	パスポート有効(日本籍)	
Global Fieldwork Project 研修言語					
1	マレーシア科学大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/14(日) 8日間	マレーシア ペナン	10名程度	ホテル	不要
			カスタム	入国時+6ヵ月以上	
2	パンニャサ大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/14(日) 8日間	カンボジア プノンペン	10名程度	ホテル	要
			カスタム	入国時+6ヵ月以上	
異文化理解セミナー 研修言語					
3	アラバマ大学 ※パスポート所持者のみ申込可 (英語) 2025/08/17(日)～ 2025/09/14(日) 29日間	米国 アラバマ州 タスカルーザ	3名	ホテル(又は寮)	要
			オープン	出国日まで	
4	クイーンズ大学 (英語) 2025/08/10(日)～ 2025/08/31(日) 22日間	カナダ キングストン	3名	ホームステイ	電子
			オープン	出国日+1日以上	
5	ビクトリア大学 (英語) 2025/08/04(月)～ 2025/08/24(日) 21日間	カナダ ビクトリア	10名程度	寮	電子
			オープン	出国時+1日以上	
6	ニー・アン・ポリテクニーク (英語) 2025/08/24(日)～ 2025/09/07(日) 15日間	シンガポール シンガポール	満員の為	ホテル	不要
			2次募集無し	入国時+6ヵ月以上	
その他短期プログラム① 研修言語					
7	立命館・昭和ボストン 「文化・社会調査」 (英語) 2025/08/04(月)～ 2025/09/01(月) 29日間	米国 ボストン	8名	寮	電子
			オープン	出国日まで	
Advanced Global Fieldwork Project 研修言語					
8	ハノイ貿易大学 (英語) 2025/09/07(日)～ 2025/09/17(水) 11日間	ベトナム ハノイ	10名程度	ホテル(HS有)	不要
			選考	入国時+6ヵ月以上	
9	チェンマイ大学 (英語) 2025/09/06(土)～ 2025/09/17(水) 12日間	タイ チェンマイ	10名程度	ホテル(HS有)	不要
			選考	入国時+6ヵ月以上	
現地で学ぶ 初修語セミナー 研修言語					
10	国立台湾師範大学 (中国語) 2025/08/10(日)～ 2025/08/30(土) 21日間	台湾 台北	10名程度	ホテル	不要
			選考	出国日まで	
11	モンテレイ工科大学 (スペイン語) 2025/08/17(日)～ 2025/09/16(火) 31日間	メキシコ グアダラハラ	満員の為	ホームステイ	不要
			2次募集無し	出国日まで	
海外スタディ 研修言語: (英語)					
12	ペース大学 「ニューヨークで学ぶ国際連合」 2025/08/10(日)～ 2025/08/24(日) 15日間	米国 ニューヨーク	閉講の為	ホームステイ	電子
			2次募集無し	出国日まで	
その他短期プログラム② 研修言語					
13	立命館・マコーリー大学 「日豪関係」 (英語) 2025/08/16(土)～ 2025/09/21(日) 37日間	オーストラリア シドニー	6名	ホームステイ	電子
			選考(語)	出国日まで	
1セメスター留学プログラム 研修言語: (英語)					
14	立命館・ヨーク大学 「イギリスで学ぶクリエイティビティ」 2025/09/22(月)～ 2026/02/05(木) 137日間	イギリス ヨーク	10名程度	ホームステイ	電子
			選考(語)	出国日まで	
15	立命館・UCデービス校 ※パスポート所持者のみ申込可 2025/09/25(木)～ 2026/03/22(日) 179日間	米国 CA州 デービス	10名程度	ホームステイ	要
			選考(語)	出国日まで	

※ 掲載情報は、募集要項発行時点のものです。今後変更となる可能性があります。

● お問い合わせ先: 「留学サポートデスク」(BKC) TEL:077-561-4881 (平日 9:00～17:00)

● ヌモ

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2. 掲載コース関連スケジュール 1/2

日時	項目						
5/16(金) 10:00 ～5/20(火) 17:00	・ 留学プログラム【2次募集】申込期間（オンライン申込） ※ 申込期間が短い為、お早めに検討、お申込ください。						
5/21(水) 17:00～	・ 【2次募集】合格候補者<抽選結果>発表（申込金の納入案内 配信） ※ manaba+R の「<u>個人宛のお知らせ</u>」で発表されます。必ず確認してください。 ※ 各プログラム、定員を超える申込者がある場合は、抽選にて決定します。						
5/26(月) 15:00 締切	・ 【2次募集】申込金納入期限（必ず期日を守って申込金を納付してください。） - 申込金の納入が確認された後、派遣候補合格者となります。 - 期限までに申込金の納入がない場合、辞退したものとして、当該コースの補欠合格候補者の繰上連絡を行います。 ※ 本要項掲載プログラムの申込金は、 ● <u>Global Fieldwork Project:</u> 50,000円 ● <u>その他の短期留学プログラム・各コース:</u> 100,000 円						
5/28(水) 17:00	・ 合格発表（【書類選考】プログラムの合格者と合同で発表します） ・ 合格候補者の辞退が発生した場合、補欠からの繰上合格も発表されます。 ※ manaba+R の「<u>個人宛のお知らせ</u>」で発表されます。必ず確認してください。 ※ 繰上合格候補者は、本発表にて申込金に関しての案内を確認してください。						
5/22(木)～5/29(木) ※ 所属キャンパスによる ※ 週末(土日)は除く	※ 「アラバマ大学」「昭和ボストン」のみ対象 ・ 母子手帳提出（以下の期間内に各自、所属キャンパス保健センターに持参する） <table border="1"> <tr> <td>【衣笠】5/22(木)～29(木)</td> <td>9:30～11:00 / 16:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>【BKC】5/22(木)～29(木)</td> <td>9:30～11:00 / 16:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>【OIC】5/22(木)～26(月)、29(木)</td> <td>9:30～11:00 / 16:00～17:00</td> </tr> </table>	【衣笠】5/22(木)～29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00	【BKC】5/22(木)～29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00	【OIC】5/22(木)～26(月)、29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00
【衣笠】5/22(木)～29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00						
【BKC】5/22(木)～29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00						
【OIC】5/22(木)～26(月)、29(木)	9:30～11:00 / 16:00～17:00						
5/31(土) 9:00～15:00（予定） < 対面 OIC >	【共通】 合格者ガイダンス（合格者の参加手続きについての案内） 【コース別】 コース別の諸手続きについての案内・参加者交流会（各コース） ※ 時間・場所等の詳細は合格発表時に案内があります。						

※ 各種手続き詳細は、ガイダンスや manaba+R にてお知らせします。上記の予定は変更になる場合があります。

2. 掲載コース関連スケジュール 2/2

日時	項目
6/4(水) 18:30-19:40 < Zoom Live 参加 >	・ 保健センターガイダンス（事前に、指定された動画の視聴が必要です） ※ 海外渡航の健康に関する留意点・事前準備 など
6/5(木) 18:30-19:40 < Zoom Live 参加 >	※ 「アラバマ大学」「昭和ボストン」のみ対象 ・ <u>予防接種ガイダンス</u>
6/10(火) 15:00 締切	・ 学内提出書類提出（指定フォームから提出） ・ 取扱い旅行社のシステムによるパスポートデータ登録（一部コース） ・ 海外旅行保険の手続（入金）
6/29(日) 午前 < 対面 OIC >	※ Global Fieldwork Project「マレーシア科学大学」「パンニャサ大学」のみ対象 ・ 事前講義
6/30(月) 18:30-19:30 < 対面:所属キャンパス >	※ 「アラバマ大学」のみ対象 ・ ビザ手続ガイダンス
7/9(水) 18:30-19:40 < Zoom Live 参加 >	・ 危機管理ガイダンス（事前に、指定された動画の視聴が必要です） ※ 海外渡航に際しての危機管理留意点・事前準備 など
7/12(土) 終日 < 対面 OIC >	・ 渡航前ガイダンス（プログラム費用の案内、旅のしおり・保険証券等手交） ※ 出発当日の集合・利用航空便・持参荷物・現地事情に関する案内 など
7/18(金) 15:00 締切	・ プログラム費用納入期限 ※ 最終金額等 詳細は、渡航前ガイダンスにて案内
8/4(月)～ 各コース随時 出発	・ コースごと、現地研修実施 ※ 現地研修終了後、参加報告書・留学写真の提出が必要です
9/24(水) 午前 < 対面 OIC >	※ Global Fieldwork Project「マレーシア科学大学」「パンニャサ大学」のみ対象 ・ 事後講義

※ 各種手続き詳細は、ガイダンスや manaba+R にてお知らせします。上記の予定は変更になる場合があります。

3. 申込方法と留意事項 1/2

3-1 募集形式

申込者多数の場合 抽選にて決定

3-2 申込期間

2025 年 5 月 16 日(金) 10:00 ~ 5 月 20 日(火) 17:00 締切 厳守

3-3 併願申込

プログラム編 ①掲載コース間でのみ、第3志望まで併願申込が可能です。

- ※ 第 1、第 2、第 3 志望それぞれの、志望コース名の選択を間違わないように十分注意してください。
- ※ 第 2~3 志望で合格した場合も、自己都合による辞退は認められません。十分検討の上申込してください。
- ※ 「専願」と、「併願の第 1 志望」は全く同列で抽選を行う為、どちらかが有利、不利ということはありません。

3-4 申込資格

申込要件「C. 申込資格の確認」で申込資格を確認してください。

- ※ 各プログラムは、所属学部・回生により申込できない場合があります。
- ※ 過年度に参加された同一コース(協定校)への再応募は認めません。
- (例) プログラム名が同じ「異文化理解セミナー」の場合であっても以下の様に、コースが異なれば申込できます。
- パターン①【申込可】 2024 年度「アラバマ大学」に参加済 →→→ 今回「ビクトリア大学」に申込
- パターン②【申込不可】2023 年度「クイーンズ大学」に参加済 →→→ 今回「クイーンズ大学」に申込

3-5 申込時の Web 環境

申込にあたっては、パソコンの利用を推奨します。

- ※ mac の場合は、ブラウザを Safari ではなく、Chrome を利用してください。
- CAMPUS WEB の推奨環境以外での端末や OS やブラウザ(LINE ブラウザなど)を使用するとエラーが発生する場合があります。推奨環境は URL・QR コードから確認してください。

【推奨環境 URL】 <https://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=365458>

【推奨環境 QR】



3-6 申込時の確認

本要項に掲載のプログラムに申込の際、必要な書類(申込書類)はありません。

- 募集要項:申込要件の「A. 申込要件の確認」記載内容を十分に確認したうえで申し込みをしてください。
- 第 2~3 志望も含めて、合格候補者発表後の辞退は出来ません。事前に費用負担者と十分協議してください。
- ※ 合格発表後、すぐに申込金の納入が必要になります。
- 募集要項:申込要件掲載の、「O. 留学プログラム参加に関する承諾事項」の記載事項を確認してください。
- ※ 渡航後の規律事項はもちろん、決められたガイダンス等に参加し、手続きを遅延なく行うこと、事務局からの連絡に速やかに対応することを参加条件としています。
- 外国籍学生は、自身の国籍、渡航国によって査証取得に時間がかかる場合があり、プログラム合格後でも査証所得が出発に間に合わず、直前に参加取消となった場合は、高額の取消料を負担しなければなりません。申込を検討する際は、自身で情報を収集し、リスクを確認した上で判断してください。
- 有効なパスポートを持っていない方は、募集要項:申込要件の「J-1 パスポートについて」を確認してください。
- ※ 合格前にパスポートの取得方法確認や戸籍謄本取得の準備を進めておいてください。

3. プログラム編① 申込方法と留意事項 2/2

3-7 申込方法

本要項に掲載しているプログラムへは、以下のフォームから申込してください。

- 以下の URL からアクセスして必要事項を入力してください。入力内容に間違いが無いか最終確認した後、送信ボタン上段の「☐ 自分の回答についての確認メールを受け取る」にチェックしてから送信してください。
 - 完了の画面表示、及び 回答確認メールで申込完了を確認してください。
- ※ 完了画面で「回答を保存する」をクリックすると自身のアカウント Forms で回答が保存されます。
自身の回答内容を後から編集することは出来ません。(回答内容は確認メールからも確認出来ます。)

【オンライン申込フォーム URL】

<https://forms.office.com/r/5rvHMM1qgT>

※ 申込フォームは、学内アカウントを利用してアクセスする必要があります。

- 申込フォームは、申込期間の開始時間～締切時間のみアクセスいただけます。
- ネットワーク環境の不具合等如何なる理由であっても、申込期間終了後の申込受付はいたしません。
- 受付最終日はアクセス集中で繋がりにくくなる可能性があります。余裕をもって申込ください。
- 申込は1回限りで、取り消し・修正は出来ません。申込時、不備が無いか十分確認してください。

3-8 抽選結果／合格 各発表の確認方法

発表日、指定時間になったら、各自で manaba+R 「個人宛のお知らせ」に配信されたお知らせ(※)から、自身の可否を確認してください。

※ 件名:【抽選結果発表】または【合格発表】 2025 年度夏期短期・1 セメスター留学プログラム

The screenshot shows the manaba+R interface. At the top, there are tabs: マイページ, コース, お知らせ (highlighted with a red circle), ポートフォリオ, 検索, メモ一覧, 出席カード, and English. Below the tabs, there's a section titled '緊急連絡' (Emergency contact) with a notice from 2017-10-23 about a typhoon. Underneath, the '個人宛のお知らせ' (Personal Notice) section is highlighted with a red circle, showing a notice from 2017-11-14 about a lost item. Below this, there's a section titled 'その他大学からのお知らせ' (Other notices from other universities) with filters for 'すべて' (All), '履修' (Courses), '学生生活・課外活動' (Student life/extracurricular activities), '進路・就職支援' (Career/job support), '留学' (Study abroad), and 'その他' (Other). A notice from 2017-11-07 regarding scholarship applications is visible.

短期

Global Fieldwork Project

マレーシア科学大学

マレーシア

ペナン



● 参加費用負担額 目安

19~24 万円

約5万8千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年9月7日(日)~9月14日(日)/8日間

おすすめPOINT

- 01 引率、バディ制度などサポートが充実!
- 02 短期間で現地交流型の留学ができる!
- 03 世界遺産の街ジョージタウンに行ける!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・参加者でグループを編成し、各班につくバディと協力して調査活動を行います。最終日のプレゼンテーション及び帰国後の事後講義でグループ毎の成果を発表します。
- ・調査テーマは、渡航先に関わる「歴史」「文化」「食生活」「観光産業」など、調査活動プランも含めて自由に設定。
- ・同年代の現地バディとのディープな交流や、参加学生との協力による調査活動等、普通の旅行で味わえない「体験・体感型海外留学プログラム」です。自身の意識改革や、学習のモチベーションUPに繋がられます。
- ・大学は、マレーシア国内で2番目に歴史が長い国立大学で、SDGsの分野で世界有数の実績を持ちます。
- ・大学のあるペナン島は、マレーシア随一のリゾート地としても知られ、世界遺産のジョージタウンは、中国・インド・西洋など様々な文化の影響を受けたユニークな多様性文化が残る、エキゾチックな街。ペナン州はマレーシア国内で上位の経済規模を誇ります。

形態	カスタム型(本学単独のプログラム ※協定校の学生バディが協力)
人数	募集:10~40名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加者決定
滞在	ホテル(2~3名/1室基準) ※朝食付き
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:不要(出発直前にオンライン入国カードの登録が必要)
その他	本プログラムは担当教員が同行し、学習のサポートを行います。 以下、国内にて参加必須の事前・事後講義があります。 ・事前講義:グループ編成、調査テーマや活動プランの打合せ ・事後講義:グループごとに調査活動の結果を発表

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:関西空港発 → 【クアラルンプール乗継】 → ペナン着(夕刻)
研修期間	初日 :訪問国や都市に関わる文化・歴史・社会等、入門編講義 協定校バディと活動内容打合せなど 平日 : (フィールドワーク3日間) グループ別に設定したテーマ・活動プランに沿って、バディの協力も得て、訪問都市を中心に縦横無尽に調査活動 最終日:調査活動のまとめ、発表
現地出発	午後:ペナン発 → 【クアラルンプール乗継】 → (機中泊)
帰国	→ 関西空港着(早朝)

- ◆ 主な視察スポット: ・世界遺産ジョージタウン(ペラナカン文化関連施設、ムスリムモスク、ヒンドゥー寺院、仏教寺院、ストリートアートなど)
・ペナンブリッジ ・ペナンヒル ・バトゥフェリンギビーチ など

- ◆ 食文化の特徴:マレー料理の特徴はたっぷりのハーブ&スパイスと、ココナッツミルクを使うこと。マレー系の人々は主にイスラム教徒なので、基本的に、豚肉やアルコールを使用していません。

◆ Global Fieldwork Project (GFP) 「マレーシア 科学大学」 2/2

- 引率 石川 涼子(国際教育推進機構)
※ 本コースは、担当教員が同行して、学習のサポートを行います。

- 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】 マレーシア航空(MH)

【乗継地】 クアラルンプール空港

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて原則、途中参加・途中離団は認められません。

- 滞在形態 食事条件 ホテル(2~3名/1室基準)
【食事】ホテルにて朝食付き。その他、プログラム中の懇親会等で一部食事が提供されることがあります。

- プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額 (参加費用 20 万円以上)

5 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 8 千円

- 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 本コースのフィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は参加費用に含まれません。

また、班別で計画したフィールドワークに同行するバディの交通費・入場料・飲食費は、各班で負担してください。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金に関する情報」は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

- 本コースに関わる特記事項

・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、対面の事前・事後講義を実施します。
参加必須の為、コース申込の際は、自身のスケジュールを調整して必ず出席してください。

【事前講義】 2025 年 6 月 29 日(日) 午前 <OIC にて実施>

【事後講義】 2025 年 9 月 24 日(水) 午前 <OIC にて実施>

※ 上記予定は変更となる場合があります。時間・教室等の詳細は決定後、manaba+R でお知らせします。

短期

Global Fieldwork Project

パンニャサ大学

カンボジア

プノンペン



● 参加費用負担額 目安

18~23 万円

約5万9千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025 年 9 月 7 日(日)~9 月 14 日(日) / 8 日間

おすすめPOINT

- 01 引率、バディ制度などサポートが充実!
- 02 短期間で現地交流型の留学ができる!
- 03 世界遺産「アンコールワット」に行ける!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・参加者でグループを編成し、各班につくバディと協力して調査活動を行います。最終日のプレゼンテーション及び帰国後の事後講義でグループ毎の成果を発表します。
- ・調査テーマは、渡航先に関わる「歴史」「文化」「食生活」「観光産業」など、調査活動プランも含めて自由に設定。
- ・同年代の現地バディとのディープな交流や、参加学生との協力による調査活動等、普通の旅行で味わえない「体験・体感型海外留学プログラム」です。自身の意識改革や、学習のモチベーション UP に繋がられます。
- ・大学は、平和な新しいカンボジア社会を構築することを目標に、英語とクメール語を用いたバイリンガル教育を実践している大型私立大学です。
- ・プノンペンは、カンボジアの首都で、行政・文化・経済の中心地であり、市内王宮にはカンボジア国王一家が住み、メコン・トンレサップ・バサック川の合流点に位置し、フランス植民地時代の趣も残す自然と調和した美しい都市です。

形態 カスタム型(本学単独のプログラム ※協定校の学生バディが協力)

人数 募集:10~30 名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加者決定

滞在 ホテル(2~3 名/1 室基準) ※朝食付き

単位 2 単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)

要件 語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。

査証 日本国籍:カンボジア商用ビザ取得(事務局を通して代行申請)

その他 本プログラムは担当教員が同行し、学習のサポートを行います。以下、国内にて参加必須の事前・事後講義があります。
・事前講義:グループ編成、調査テーマや活動プランの打合せ
・事後講義:グループごとに調査活動の結果を発表

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:関西空港発 → 【ホーチミン乗継】 → プノンペン着(夕刻)
研修期間	初日 :訪問国や都市に関わる文化・歴史・社会等、入門編講義 協定校バディと活動内容打合せなど 平日 : (フィールドワーク 3 日間) グループ別に設定したテーマ・活動プランに沿って、バディの協力も得て、訪問都市を中心に縦横無尽に調査活動 最終日:調査活動のまとめ、発表 (夕刻)専用バスでプノンペンからシェリムアップへ移動
現地出発	朝:世界遺産 アンコールワット視察 夕刻:シェリムアップ発 → 【ハノイ乗継】 → (機中泊)
帰国	→ 関西空港着(朝)

◆ 主な視察スポット: ・ワットプノン ・王宮 ・シルバーパゴダ ・独立記念塔、
トゥールスレン虐殺博物館 ・キリングフィールド など

※ 最終日、東南アジア最大の著名な世界文化遺産「アンコールワット」を視察。

◆ 食文化の特徴:カンボジアの伝統料理「クメール料理」は、地元の新鮮な魚介類を中心とした食材を使い、色々なスパイスやハーブ、フルーツを使った料理が多く、それぞれに特有の風味があります。

◆ Global Fieldwork Project (GFP) 「パンニャサ大学」 2/2			
● 引率	羽谷 沙織(国際教育推進機構) ※ 本コースは、担当教員が同行して、学習のサポートを行います。		
● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。			
【航空会社】 ベトナム航空 (VN) 【乗継地】 往路:ホーチミン空港 / 復路:ハノイ空港			
※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて原則、途中参加・途中離団は認められません。			
● 滞在形態 食事条件	ホテル(2~3名/1室基準) 【食事】ホテルにて朝食付き。その他、プログラム中の懇親会等で一部食事が提供されることがあります。		
● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)			
支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要) ※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。			
<table><tr><td>本コースの奨学金支給額 (参加費用 20 万円以上)</td><td>5 万円</td></tr></table>		本コースの奨学金支給額 (参加費用 20 万円以上)	5 万円
本コースの奨学金支給額 (参加費用 20 万円以上)	5 万円		
支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策 ※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)			
<table><tr><td>想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)</td><td>約 9 千円</td></tr></table>		想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)	約 9 千円
想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)	約 9 千円		
● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について			
参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、 上記記載の「<u>本学からの支援</u>」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。			
※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。 ※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。			
参加費用に 含まれるもの (標準項目)	・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など) ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用) ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など) ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)		
※ 日本国籍参加者のカンボジア商用ビザ取得代行申請は、プログラム参加費用に含まれます。 ※ 本コースのフィールドワーク中に必要な個別の交通費・入場料・飲食費は参加費用に含まれません。 また、班別で計画したフィールドワークに同行するバディの交通費・入場料・飲食費は、各班で負担してください。 ※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」 及び、「奨学金に関する情報」は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。			
● 本コースに関わる特記事項			
・本プログラム参加者には、全員対象のガイダンス以外に、成績評価に関わる、対面の事前・事後講義を実施します。 参加必須の為、コース申込の際は、自身のスケジュールを調整して必ず出席してください。			
【事前講義】 2025 年 6 月 29 日(日) 午前 <OIC にて実施>			
【事後講義】 2025 年 9 月 24 日(水) 午前 <OIC にて実施>			
※ 上記予定は変更となる場合があります。時間・教室等の詳細は決定後、manaba+R でお知らせします。			

短期

異文化理解セミナー

アラバマ大学

アメリカ合衆国

アラバマ州



※ 本コースの2次募集では、有効なパスポートを所持している方のみ申込できます。

● 参加費用負担額 目安

93~97 万円

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

約19万5千円の
本学支援金 適用後

派遣期間(日本発着)

2025年8月17日(日)~9月14日(日)/29日間

おすすめPOINT

- 01 レベルに応じた授業で英語力を向上!
- 02 豊かな自然に囲まれた美しいキャンパス!
- 03 多種多様なアクティビティに参加できる!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・1831年創立の全米でもっとも歴史と伝統のある南米屈指の総合大学、アラバマ大学付属のELI*にてレベル別の英語学習プログラムを履修します。
- ・ELIは授業の質の高さに定評があり、教師陣は第二言語としての英語教授法の修士号を持ち、広範な経験があります。
- ・大学は過去、米国で最も美しいキャンパスに選出されており、最新の学生レクリエーションセンターをはじめとする、充実した施設を備えています。
- ・スポーツ強豪校として有名な大学で、アメリカンフットボールは、何度も全米チャンピオンに輝いた実績があります。
- ・大学がある米国南東部アラバマ州南西部の都市「タスカルーサ」は市内に多くの公立公園があり、アウトドアスポーツや様々な文化活動が活発です。
- ・アラバマ州最大の都市バーミングハムまで車で1時間程度、ジョージア州の州都アトランタまで約3時間という立地。

*ELI=English Language Institute

形態	オープン型(同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり)
人数	募集:10~20名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加者決定
滞在	ホテル利用 ※朝食付き(学生寮滞在に変更の可能性あり)
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:F-1学生ビザ取得(事務局を通して代行申請)
その他	協定校の受入規定により、出発前に予防接種を受ける必要があります。 ・髄膜炎ワクチン×1回(20歳以下)・麻疹・風疹・おたふく×2回 ・結核検査(1年以内) ※履歴確認により、必要なワクチンを接種。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午前:伊丹空港発 → 【東京・ダラス乗継】 → バーミングハム着(午前) <日付変更線通過の為、現地時間で同日に到着>
研修期間	【平日】4週間プログラム 09:00-12:00 Four-Skills English Class (休憩あり) 13:00-13:50 Structure (Grammar) 14:00-自由参加のアクティビティ 【週末・祝日】Free Day、アメリカンフットボール観戦 【アクティビティー例】 現地大学生と他国留学生との交流会、各種スポーツ・交流イベントなど 多種多様なアクティビティが現地大学の複数のインスタグラムに掲載されているので、各自好きなものに参加できます。
現地出発	朝:バーミングハム空港発 → 【ダラス乗継】 → (機中泊) <日付変更線通過>
帰国	→ 【東京乗継】 → 伊丹空港着(夕刻)

備考

- ・現地交流を楽しみたい人、スポーツが好きな人におすすめ。
- ・国際色豊かなキャンパス。(授業クラスは日本人多めの場合あり。)
- ・リーディングとスピーキング、それぞれ自分に合ったレベルで受講可能。
- ・アメリカで人気のアメフトの試合を10万人規模のスタジアムで観戦。

◆ 異文化理解セミナー「アラバマ大学」2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】日本航空(JL) ※現地区間: アメリカン航空 【乗継地】羽田空港、及びダラス空港

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態
食事条件

本コースの滞在形態は、募集要項作成時点、ホテル利用にて予定していますが、今後の状況により、学生寮に変更になる可能性があります。(変更になる場合は、別途案内をします)

その場合、提示している参加費用は大幅減額されることとなりますが、

21歳以上の参加者の方も、現在指定の予防接種に追加して「髄膜炎ワクチン」を受ける必要があります。

【食事】ホテルの場合「朝食付」、学生寮の場合は「食事無」(別途各自負担)

● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額(参加費用 50 万円以上)

10 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額(2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 9 万 5 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 日本国籍参加者の F-1 ビザ取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。

※ プログラム参加条件となる、予防接種・及び検査等の費用は、プログラム参加費用に含まれません。

※ 現地で使用する教材費は参加費用に含まれません。(レベルや中古購入等によって異なりますが、平均\$190 程度です)

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

・本コースは、F-1 ビザ取得手続きの為に「パスポートデータ」を提出いただく必要があります。

その為、「プログラム終了日+1週間程度まで」有効なパスポートを持っていない学生は、本コースに申し込ただけません。

プログラム申込フォームにて、パスポートを提出してください。

・参加条件となる予防接種は、母子手帳記載のワクチン履歴を確認し、接種計画に沿って、出発までに受けていただきます。

P.3 記載の提出日までに、母子手帳等のこれまでの予防接種の記録が分かるものを準備してください。

【プログラム参考資料】

① プログラム紹介パンフレット

<https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/25summer/guideline/Alabama-brochure.pdf>

② アクティビティなどが確認できるインスタグラムアカウント

<https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/25summer/guideline/Alabama-activity.pdf>

短期

異文化理解セミナー

クイーンズ大学

カナダ

オンタリオ州



● 参加費用負担額 目安

75~79 万円

約11万8千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年8月10日(日)~8月31日(日)/22日間



おすすめPOINT

- 01 自然豊かな環境で集中して英語を学ぶ!
- 02 カナダの歴史・文化、SDGsを学ぶ!
- 03 「ナイアガラの滝」へ行ける!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・カナダ国内でトップレベルの公立大学、クイーンズ大学付属 Queen's School of English が提供する、英語学習のプログラムを履修します。
- ・Listening、Speaking に重点を置き、ロールプレイングやディスカッション、グループワークで英語を学びます。
- ・カナダ(キングストン)の自然や歴史に触れるフィールドトリップを通じて、カナダの社会や文化、プログラムのメインテーマである SDGs についての理解を深めます。
- ・オンタリオ湖の北岸に位置するキングストンは、州都トロントと隣のケベック州最大の都市モントリオールの間であり、トロント空港からは、車で3時間程です。小さな町ですが、1840年代の短期間、カナダの首都だったこともあり、歴史的建造物と新しい建物が調和し、石灰岩で作られた白い建物が多いことから、「ライムストーンシティ」とも呼ばれています。

形態	オープン型(同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり)
人数	募集:10~50名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加者決定
滞在	ホームステイ(2~3名/1家庭基準) ※朝・昼・夕3食提供
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:電子渡航認証 eTA 取得(事務局を通して代行申請)
その他	クイーンズ大学提供の奨学金に申請可能(受給額800カナダドル) ※ 指定のテーマで500字のエッセイを作成して応募、クイーンズ大学による審査により受給者が決定します。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	午後:伊丹空港発 → 【東京乗継】 → トロント着(夕刻) <日付変更線通過の為、現地時間で同日に到着> ※ トロント~キングストンまで、車で3時間程度かかります。
研修期間	【平日】3週間プログラム 08:30-11:20 Core Class (休憩あり) 13:00-15:50 Lab-Spoken, Guided Excursions など 【週末・祝日】Free Day、ナイアガラの滝ツアー 【フィールドワーク例】 The Elbow Lake Environment Education Centre, Thousand Islands, Movie Nights, 地元のチャリティ団体への訪問など
現地出発	※ 朝:専用車にてキングストンを出発 午後:トロント発 → (機中泊) <日付変更線通過>
帰国	→ 【東京乗継】 → 伊丹空港着(夜)

備考

- ・自然環境や SDGs に興味がある人、郊外の静かな環境で勉強したい人におすすめ。
- ・ホームステイやイベントで、現地の様々な人と対話する機会あり。
- ・ナイアガラの滝ツアーでは、トロント市内の観光もあり。

◆ 異文化理解セミナー「クイーンズ大学」2/2			
● 引率	教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。 ※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。		
● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。			
【航空会社】 エア・カナダ(AC) ※国内区間: 全日空 【乗継地】 羽田空港 ※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。			
● 滞在形態 食事条件	ホームステイ(2~3 名/1 家庭基準) 【食事】 ホストファミリーにより、原則 朝・昼・夕 3 食提供あり ※ 本要項巻末「掲載コース共通情報②:ホームステイに関する留意事項」を理解したうえでお申込みください。		
● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)			
支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要) ※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。			
<table border="1"> <tr> <td>本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)</td><td>10 万円</td></tr> </table>		本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)	10 万円
本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)	10 万円		
支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策 ※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)			
<table border="1"> <tr> <td>想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)</td><td>約 1 万 8 千円</td></tr> </table>		想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)	約 1 万 8 千円
想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)	約 1 万 8 千円		
● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について			
参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、 上記記載の「<u>本学からの支援</u>」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。 ※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。 ※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。			
参加費用に 含まれるもの (標準項目)	・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など) ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用) ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など) ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)		
※ 日本国籍参加者のカナダ電子渡航認証「eTA」取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。 ※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。			
● 本コースに関わる特記事項			
カリキュラムは、主に5つの要素で構成されています。 ・Core Class : 実生活の様々なコミュニケーション場面で使える英語4技能を高めます。主に SDGsをテーマにして、ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンなどを行います。 ・Lab Spoken Class : Core Class で取り上げたSDGsのトピックを更に掘り下げ、コミュニケーション、プレゼンテーション、リスニング力を高めます。 ・Guided Excursions : 自然環境保護についてフィールドワークを行ったり、カナダの文化に触れることができる、体験活動を行います。 ・Student Life Activities: キングストンの伝統文化に触れたり、アクティビティを通して地元の方とコミュニケーションを取る機会があります。 ・Volunteer Club : サステナブルライフを実践している団体やお店を訪問したり、サステナブルな生活についてディスカッションを行います。 【プログラム参考資料】・プログラム紹介パンフレット https://www.ritsumeai.ac.jp/students/studyabroad/db/25summer/guideline/Queens-brochure.pdf			

短期

異文化理解セミナー

ビクトリア大学

カナダ

ブリティッシュコロンビア州



● 参加費用負担額 目安

67～73 万円

約11万5千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025 年 8 月 4 日(月)～8 月 24 日(日) / 21 日間



おすすめPOINT

- 01 英語とともにカナダの文化も学べる！
- 02 会話力を高める機会が充実！
- 03 多種多様なアクティビティに参加できる！

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・ビクトリア大学は、1963年にブリティッシュコロンビア大学から独立して設立された、国際共同研究ランキング北米トップクラスの大規模総合大学です。
- ・本プログラムは、ビクトリア大学内にある ELC*提供のプログラムを履修します。
- ・ELCは、年間を通して 35 カ国以上、2500 名の海外留学生に英語プログラムを提供し、海外教育経験豊富な TESOL 認定講師が指導しています。
- ・大学はバンクーバー島の南端、ブリティッシュコロンビア州都ビクトリアにあり、海岸に近く、野生動物も生息する自然あふれる環境に位置しています。キャンパスには、スポーツジムや庭園があり、ダウンタウンから15分の好立地です。
- ・国際線航空機が着発するバンクーバー空港より、ビクトリア大学の所在するバンクーバー島へはフェリーを利用して移動します(所要:約 1.5 時間)。

*ELC=イングリッシュランゲージセンター

形態	オープン型(同クラスに他国、及び日本の他大学生を含む可能性あり)
人数	募集:10~50 名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加者決定
滞在	学生寮(1 名/1 室基準) ※朝・昼・夕 3 食提供
単位	2 単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍: 電子渡航認証 eTA 取得(事務局を通して代行申請)
その他	ELC ラーニングセンターでは、教員やボランティアから英語学習のサポートが受けられます。

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	夕刻:関西空港発 → 【直行便】→ バンクーバー着(午前) <日付変更線通過の為、現地時間で同日に到着> ※ 空港からビクトリアの大学へは、専用車とフェリーで移動(夕刻着)
研修期間	【平日】3 週間プログラム 08:30-12:30 English Classes (休憩あり) 午後-自由参加のアクティビティ 又は 大学施設を利用した自主学習 【週末・祝日】Free Day 又は オプションルツアー 【アクティビティ例】 Downtown Walking Tour、現地大学生や他国留学生との交流、カルチャーアシスタントによるワークショップや Evening Activities
現地出発	朝:専用車とフェリーで空港へ移動 午後:バンクーバー発 → (機中泊)<日付変更線通過>
帰国	→ 【東京乗継】→ 伊丹空港着(夕刻)

備考

- ・海外の寮生活を経験してみたい人、カナダの文化や歴史に興味がある人におすすめ。
- ・バンクーバー旅行やホエールウォッチングなど、様々なオプションルツアーあり(料金別途必要)。

◆ 異文化理解セミナー「ビクトリア大学」2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】エア・カナダ(AC) ※国内区間: 全日空 【乗継地】往路:直行便 / 復路:成田空港

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態
食事条件

学生寮(1名/1室基準) ※ シャワーとトイレは共用です

【食事】朝・昼・夕 3食提供あり

● プログラム参加における本学からの支援(特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金(返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額(参加費用 50 万円以上)

10 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策(臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額(2次納付金案内時に詳細を提示します)

約 1 万 5 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費(授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用(各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用(航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他(協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 日本国籍参加者のカナダ電子渡航認証「eTA」取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの(例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

- ・カナダの文化、社会、歴史などのトピックを通して、英語4技能を高めます。
- ・日常会話やアカデミックな場面で使える英語を学びます。
- ・現地で配られるバスパスで、ビクトリアの様々なところへバスで移動ができます。
- ・CARSA(下記ウェブサイト参照)というスポーツ施設では、様々なトレーニングやスポーツを行うことができます。
- ・寮には Cultural Assistant がいて、困ったことがあれば相談できます。また、寮生向けの Evening Activities もあります。
- ・本コースは、合格発表後すぐに現地大学への申込手続きを行います。

申込には「パスポート記載氏名」が必要です。事前に確認をお願いいたします。

【プログラム参考資料】

① プログラム紹介ホームページ

<https://continuingstudies.uvic.ca/elc/current-students/elc-schedules/summer-language-and-culture-programs/p7>

② CARSA 紹介ホームページ(スポーツイベントなども掲載されています。)

<https://www.uvic.ca/campus/athletics-and-recreation/index.php>

短期

立命館・昭和ボストン

「文化・社会調査」

アメリカ合衆国
マサチューセッツ州



● 参加費用負担額 目安

77~79 万円

約19万8千円の
本学支援金 適用後

※ 原則、参加者全員が受給できる返済不要のチャレンジ奨学金など、大学からの支援等を差し引いた、参加者負担額の目安です。
※ その他必要な費用や支援の詳細は募集要項にて確認してください。

派遣期間(日本発着)

2025年8月4日(月)~9月1日(月)/29日間



おすすめPOINT

- 01 昭和女子大学所有の教育施設で安心!
- 02 自分の興味に沿った内容を学べる!
- 03 日本語可能なスタッフによるサポートが充実!

● 都市・大学・プログラムの特徴

- ・昭和女子大学が所有・経営する教育施設「Showa Boston Institute, USA」はボストン中心部から車で15分程の閑静な住宅街にあり、300人以上滞在できる学生寮、プール、ジャグジー、フィットネスルーム、テニスやバスケのコートなど充実した施設と24時間対応のセキュリティ、看護師が常駐する保健室を備え、生活・学習面でバイリンガルスタッフのサポートがあるので海外が初めてでも安心して滞在できます。
- ・レベル別の英語授業に加え、自身で選択したフォーカスクラス対応の専門英語授業があります。フォーカスクラスごとに専門授業とフィールドトリップも実施され、興味のある分野を実践的に学ぶことができます。
- ・ボストン周辺には、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学など世界トップクラスの教育(研究)機関や企業だけではなく、歴史的な教会やレンガ調の建造物も多く存在し、それらがビルなどの現代建築物と調和した街並みが特徴的です。

形態	オープン型(日本の他大学生との合同プログラム)
人数	募集:10~30名 ※申込者多数の場合は抽選にて参加決定
滞在	学生寮(2~4名/1室) ※平日3食/週末・祝日朝夕2食提供
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)
要件	語学要件:なし ※学部・回生などの申込資格を確認してください。
査証	日本国籍:電子渡航認証ESTA取得(事務局を通して代行申請)
その他	協定校の受入規定により、出発前に予防接種を受ける必要があります ・B型肝炎・麻疹・風疹・ムンプス・水痘・髄膜炎・Tdap(輸入) ※履歴確認により、必要なワクチンを接種(複合ワクチンあり)

● プログラム日程の概要(実際の内容は、変更する可能性があります)

出発	朝:関西空港発 → 【香港乗継】 → ボストン着(夜) <日付変更線通過の為、現地時間で同日に到着>
研修期間	【平日】4週間プログラム AM: I.レベル別一般英語 II.専門英語 PM: フォーカスクラス・フィールドワーク ※PMのフォーカスクラスは申込時に第1~3希望で以下から選択 ① アメリカ文化 ② アメリカン・ビジネス ③ ホスピタリティ ④ ミュージアム&アートコレクションズ 【週末・祝日】フリータイム・オプションルツアー
27日目	航空便が深夜出発の為、夕刻~夜に空港へ移動、それまでは、フリータイムになります。(発時間が日をまたぐ為翌日発)
28日目	深夜:ボストン発 → <日付変更線通過>
帰国	→ 【香港乗継】 → 関西空港着(午後)

備考

- 事前申込のオプションルツアーあり(別料金)
- ① ニューヨーク1泊2日(\$550)
 - ② 東洋貿易と魔女狩りの町セイラム(\$35)

◆ 立命館・昭和ボストン「文化・社会調査」2/2

● 引率

教員・旅行社添乗員 共に、同行しません。

※ 往復路、航空乗継やトラブル発生時など、参加学生全員で協力して対応する必要があります。

● 往復路移動の航空便について ※ 現時点の予定の為、変更の可能性があります。

【航空会社】 キャセイパシフィック航空 (CX)

【乗継地】 香港空港

※ 航空便は団体手配の為、国内空港乗継がある場合も含めて、途中参加・途中離団の参加は認められません。

● 滞在形態

学生寮 (2~4 名 / 1 室基準)

食事条件

【食事】 平日:朝・昼・夕 3 食提供あり / 週末・祝日:朝・夕 2 食提供あり

● プログラム参加における本学からの支援 (特別な申請手続きは不要、原則参加者全員に適用されます)

支援① 海外留学チャレンジ奨学金: 海外留学プログラムへの参加・修了を奨励する為の学内奨学金 (返済不要)

※ ただし、以下の支給額を上回る海外留学に関する学外奨学金を受給している場合、併給はできません。

本コースの奨学金支給額 (参加費用 50 万円以上)

10 万円

支援② 海外留学プログラム参加支援策 (臨時措置): 近年の為替円安基調による費用高騰を緩和する為の臨時支援策

※ 支援額算定用基準レートと実際の送金時レートの差額を支援します。(多少変動する場合があります。)

想定支援額 (2 次納付金案内時に詳細を提示します)

約 9 万 8 千円

● 前ページ掲載の「参加費用負担額 目安」について

参加費用は、最終の 2 次納付金案内時に実費算出を行うまで変動します。前ページに掲載の「参加費用負担額 目安」は、

上記記載の「本学からの支援」金額を差引いた、参加者負担額の現時点想定範囲です。

※ 定員上限の参加者数で、かつ算出時から燃油サーチャージの値上がりが無ければ、記載範囲下限に近い費用になります。

※ 特に、費用に含まれる「燃油サーチャージ」が予測を超えて変動した場合は、掲載金額の範囲に収まらない場合があります。

参加費用に
含まれるもの
(標準項目)

- ・協定校が運営する、現地プログラム費用・実習費 (授業料、参加必須のアクティビティ・空港送迎など)
- ・現地滞在費用・滞在条件に含まれる食事費用 (各コースの滞在形態に合わせた費用)
- ・航空関連費用 (航空運賃・空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・旅行社手配料など)
- ・その他 (協定校登録費用、共通の渡航手続き費用、危機管理諸費用、その他運営に関わる諸費用)

※ 日本国籍参加者の米国電子渡航認証「ESTA」取得代行申請の費用は、プログラム参加費用に含まれます。

※ プログラム参加条件となる、予防接種・及び検査等の費用は、プログラム参加費用に含まれません。

※ 申込時選択する、オプションルツアー・日帰りフィールドトリップの費用は、プログラム参加費用に含まれません。

※ 本コース参加には、緊急時対応のため、現地で随時データ通信可能な携帯電話の所持が条件となっています。

ソフトバンクのアメリカ放題に加入又は、指定の携帯 SIM カードの契約など (1 カ月あたり \$30~\$60 程度。)

希望者は携帯端末を昭和ボストンでレンタルすることもできます。(レンタル代: \$42 程度。デポジット \$100 程度。)

また、通話・データ送受信などを利用した場合は別途通信料金がかかります。詳細は合格者ガイダンスで案内します。

※ 各コース共通の、「参加費用に含まれないもの (例)」「参加費用が確定するまでの変動要素」「参加費用の支払い時期」

及び、「奨学金」の情報は、本募集要項プログラム編の巻末「掲載コース共通情報 ①」を確認してください。

● 本コースに関わる特記事項

・参加条件となる予防接種は、合格後に本校保健センターに母子手帳を提出して、受ける必要のあるワクチンを確認し、接種計画に沿って、出発までに受けていただきます。(新型コロナワクチンの接種は参加条件となっていませんが、渡航前 3 カ月程度でのブースター接種 1 回、未接種の方は 2 回の接種を強く推奨されています。)

・参加条件となる予防接種は、母子手帳記載のワクチン履歴を確認し、接種計画に沿って、出発までに受けていただきます。

P.3 記載の提出日までに、母子手帳等のこれまでの予防接種の記録が分かるものを準備してください。

・申込時に、左ページ記載の①~④のフォーカスクラスから第 1 希望~第 3 希望の選択、及び必要に応じてオプションルツアーの申込が必要です。フォーカスクラスおよびオプションルツアーの詳細は、以下【昭和ボストン募集要項】をご確認ください。

・現地校規定により、期間中はオプションルツアー以外での、マサチューセッツ州外への旅行は認められません。

【プログラム参考資料】・昭和ボストン募集要項 ※フォーカスクラスの内容を以下より必ず確認してください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/students/studyabroad/db/25summer/guideline/ShowaBoston-guideline.pdf>

※参考資料内には、8 つのフォーカスクラスが記載されていますが、2 次募集では左ページ記載の①~④のみ選択可能です。

◆ 掲載コース共通情報 ①

● プログラム参加費用についての補足事項

1. 参加費用の変動:

プログラム参加費用は、以下の要素により変動します。2 次納付金を案内する際に、最終的に実費算出する為、本募集要項作成時には、想定される変動範囲を基準として、本学支援を差引いた「**参加費用負担額 目安**」を掲載しています。

参加費用の変動要素: ▶ 航空会社設定の燃油サーチャージ(原油価格に合わせて変動、最終費用案内時に確定)
▶ 参加人数により変動する費用 ▶ 協定校との調整により発生する必要な内容修正 ▶ 現地通貨の送金時レート

2. 参加費用の支払い時期: プログラム参加費用は、以下 2 回に分けて支払います。事前に支払計画をしてください。

① 1 次納付金(申込金):合格発表後、数日以内に納入(5 月)		② 2 次納付金:出発の 1~2 か月前に納入(7 月)
▶ GFP・AGFP プログラム	50,000 円	最終算出費用が確定した段階で、参加費用から「納入済み申込金」と「本学からの支援金」を差引いた金額を案内し、1 週間程度以内に納入
▶ その他 短期留学プログラム	100,000 円	
▶ 1 セメスター留学プログラム	300,000 円	

※ それぞれの支払い時期に、具体的な金額や振込先、費用内訳(2 次納付金時)などを記載した納付案内を発信します。

3. 参加費用に含まれないもの:

プログラムの参加にあたり、参加費用に含まれないもの(例)を以下に示します。資金計画の参考にしてください。

※ 各コース情報のページで、「参加費用に含まれるもの」当該コース特記の「参加費用に含まれないもの」を記載しています。

参加費用に含まれないもの(例)	▶ パスポート取得に関わる費用	▶ 海外旅行保険代(合格者ガイダンスで詳細を案内)
	▶ 自宅と集合・解散場所(国内空港)間の交通費・集合、解散時間に各自対応するための国内宿泊費	▶ 現地滞在先と協定校間の通学交通費(コースにより、バス定期券などが含まれる場合があります)
	▶ 超過手荷物料金(手配された各種運送機関で定めた無料受託範囲を超過した場合にかかる費用)	▶ 留学期間中の「滞在形態・食事条件」に記載されている以外の食事代
	▶ 予防接種等の費用(予防接種が参加条件となっているコースも、参加費用には含まれません)	▶ 個人精算が必要な諸手続費用(外国籍参加者を含め、個人で手続が必要なビザ費用等)
	▶ その他、個人にかかる費用:(現地で飲料・間食・日用品・生活雑貨・土産など)	

※ 過去参加者の報告により、準備した資金などの情報が、参考になる場合があります。必要に応じて参照してください。

【参加報告書 One Drive URL】 <https://x.gd/4Dwto>

● 奨学金について

必要に応じて、海外留学を支援する奨学金制度についてホームページ掲載の情報を確認してください。

「立命館大学 海外留学プログラム」で検索 > よくある質問 FAQ >

> 「立命館大学の留学プログラムに参加する際の奨学金はありますか?(学部生)」

<https://global.support.ritsumei.ac.jp/hc/ja/articles/19288398251283>

1. 学内の奨学金: 海外留学プログラム参加学生を支援する、立命館大学の奨学金制度

(1) 立命館大学 海外留学チャレンジ奨学金: ※ 「参加費用負担額 目安」に反映済み

本募集要項掲載のプログラムに参加の場合、原則、特別な申請はなく自動的に支給され、返還不要の奨学金

(2) 立命館大学 海外留学サポート奨学金: (学籍上「留学」となる、1 セメスター以上の留学のみ対象)

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる方に対する奨学金

2. 学外の奨学金:

(1) 大学を通じて応募する奨学金: 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)

本募集要項掲載のプログラムでは、1 セメスター留学「UC デービス」に参加する日本人学生のみ対象

(2) 個人で応募する奨学金:

大学に案内がきている個人で応募できる、主な公共団体・民間団体による奨学金の情報をホームページで掲載

※ 各奨学金の申請・受給に関しては、「申請資格」「申請時期・方法」「規約」など、各自で確認してください。

※ 「海外留学チャレンジ奨学金」は、プログラム費用から奨学金を受給したものととして差し引き額を 2 次納付金で納入するため、万一、出発直前や出発後の取消等となった場合は、奨学金分の費用支払が追加発生する場合があります。

◆ 掲載コース共通情報 ②

● ホームステイに関する留意事項

参加形態が「ホームステイ」のコースは、以下の内容を必ず確認・理解し、納得した上で申し込んでください。
また、参加が決定した場合は、渡航前に実施される「ホームステイガイダンス」で更に理解を深めていただきます。

1. ホームステイとは

ホームステイの主旨は、海外一般家庭にその家族と一緒に生活することで、現地の暮らしをじかに体験し、文化や生活習慣の違いを通して「相互理解をもって国際交流を図る」ことにあります。ホームステイは、「リアルな海外生活体験」「生きた会話の学習」「異文化理解」「自分自身や普段の生活を見直す機会」など、多くの有意義な機会を与えてくれます。ただし、明確な目的を持たないまま漠然とプログラムに参加したり、ホームステイに対して、誤った認識や、過度の期待、勝手に作り上げたイメージを持っていたりすると、現実とのギャップに納得がいかず、現地で後悔することになりかねません。

ホストファミリーは、皆さんの自宅と同じ一般家庭で、均一のサービスを提供するホテルではありません。ホストファミリーの生活環境、立地、通学時間、家族構成、ペットの有無、人種、職業、宗教は様々で、ホームステイプログラムの参加にあたっては、それらの条件でホストファミリーを差別・選別する事や、他の参加者の受入先と比較して「同じ費用なのに待遇が違う」といった考え方は、厳に慎まなければなりません。

理想とは違っても、海外一般家庭の一員としての生活は、簡単に体験できるものではありません。
「日本の常識は、海外の非常識」という言葉があります。良くも悪くも、常識は国や地域によって変わるもの。日々新しい発見をして文化の違いを楽しんだり、自身の工夫により困難を乗り越えたりすることが出来れば、視野が広がり、生きる力が養われ、あなたにとってかけがえのない有意義な体験となるでしょう。

2. ホストファミリーについて

ホストファミリーは現地手配により「安全に滞在できる」ことを前提に、「研修言語コミュニケーション」、「規定条件の食事提供」などといった基準で、経験者からの推薦によるリクルートなど、適切と判断された家庭を手配しており、犯罪歴や周囲の評判、過去のホームステイ受入状況、滞在者からのアンケート結果など、事前に入念な確認のうえで選定されていますので、基本的に安心して滞在していただけます。

受入先ホストファミリーは、皆さんが作成する「アプリケーションフォーム」によりマッチングが進められます。人気渡航先では、日本のみならず世界各国から数多くの留学生が訪れるため、ホストファミリーの手配状況は概ねひっ迫しています。合格後、指示のあったホームステイアプリケーションフォームは、必ず提出期限を守り、深刻なアレルギーや、事前に告知しておくべきことは明確に記載して、不備の無いように注意してください。ただし、欧米では犬や猫などのペットを飼っているファミリーの割合が非常に高く、動物や食事について、自身でも対応できるアレルギーや、好き嫌いをもとにしてアプリケーションフォームを記入することで、受入対象を狭めてしまう可能性がある為、注意が必要です。また、電子タバコも含め、屋内で喫煙が許される家庭はほとんどありませんが、事前に「喫煙しない」と申告しながら、敷地内で隠れて喫煙していたりすると、即日ホームステイ先から退去させられることになりかねません。情報は正確に申告してください。

好き嫌いで食べられないものなどある場合は、現地に行ってから直接ホストファミリーに伝えるといいでしょう。アプリケーションフォームの様式は様々ですが、受け取る側のことを考えて、ポジティブな印象を伝えることをお勧めします。事前に「立命館生は 1 人のみ」といった条件で手配されるコースもありますが、人気の地域では、他国、及び日本からの他の留学生と同じホームステイ先になる可能性が高くなります。一家庭で複数の留学生を受け入れる場合、同性の留学生を原則としていますが、他の留学生と同居する際は、ホストファミリーと同様に、お互い尊重し合う良い関係を築くことが重要です。

3. ホームステイプログラムの検討にあたって

当然のことながら、渡航する国や地域、協定校のプログラムにより、文化や慣習は違い、更に、一般家庭であるホストファミリーによっても、環境や受入状況は様々です。ホームステイプログラムに参加するうえで重要なことは渡航先の文化などを事前に調べて、自身のイメージの幅を広げること、そして、改めてホームステイの主旨に沿って偏見や先入観を捨てて、「与えられた環境の中でいかに楽しむか」、ポジティブに取り組むことが重要です。ホームステイは、受入先の環境がそれぞれ異なる為「何を与えてくれるか」という目線では不平等かもしれませんが、与えられた環境の中で、自分自身の為に「何が得られるか」は、あなたの取り組み方次第です。ポジティブに、主体的に取り組んで、是非この貴重な機会を自身の成長につなげてください。